



2050年
脱炭素社会の実現を目指して

私たちの eco チャレンジ!

市では、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを旨すゼロカーボンシティを宣言しています(2面参照)。未来を担う次世代に、豊かな自然や暮らしを引き継いでいくため、まずは身近な取り組みから始めてみませんか。

☎環境政策課 ☎0422-29-9612

CO₂削減と健康のために、
できる限り徒歩や自転車
で移動!



毎年自宅でグリーンカーテンを
作っています。見た目も涼しく、
日射の熱エネルギーを80%
抑えるといわれています。



LED照明は割高感がありますが、寿命が長く、消費電力を抑えてくれます。また、契約アンペア数を下げられて、お得になるかも。



冷蔵庫には食品を詰め込みすぎず、冷気の通りをよくすることで無駄な電力を抑えられます。

撮影協力:「みんなの環境」のメンバーとOBの皆さん

市長コラム

星空の見えるまちを目指して



三鷹市長 河村 孝

三鷹市がゼロカーボンシティを宣言(2面参照)したのは、令和2(2020)年に参加した、大気環境を考える「星空の街・あおぞらの街」全国協議会がきっかけでした。

国立天文台が三鷹に移転した大正13(1924)年ごろ、夜空には満天の星が輝いていたはずですが、宣言をしてから、これまで世界中で異常気象が続いており、残念ながら星空や青空はかすんでいけると言えるでしょう。

この課題の解決には、三鷹市だけでなく、国や東京都、企業、そして何より国民一人ひとりの理解と協力が不可欠です。しかし、私たちには足並みがそろそろまで、ためらっている時間はありません。できることから一歩ずつ進める、これが「宣言」をした理由でもあるのです。

私は、三鷹市民の、国民の、世界の人々の「底力」を信じています。そして、2050年までに新たな技術革新も必ず生まれると信じています。

YouTubeで配信中

